

世界の歯科保健医療のNew Normal –ウイズコロナへの対応–

小川 祐司

Oral Health Care Service as New normal – Adopt “with COVID-19” –

Hiroshi Ogawa

キーワード：新型コロナウイルス、歯科保健医療サービス、高齢者

要 旨

新型コロナウイルス感染は歯科保健医療サービスへのアクセスにも影響を及ぼしている。一方で、新型コロナウイルス感染予防のためには適切に口腔健康を維持することが望ましいと考えられ、ウイズコロナ禍での口腔健康管理のあり方が問われている。本稿では、ウイズコロナ禍での歯科保健医療サービスの提供実態について検証し、患者や集団の特性を踏まえた口腔健康管理を考察する。本稿は深井保健科学研究所 第19回コロキウム（2020年8月30日オンライン開催）での発表内容に一部加筆したものである。

諸外国の対応

依然として新型コロナウイルス（COVID-19）感染が続き、2020年11月1日現在、世界の感染者数は4600万人に迫っている¹⁾。同時にウイズコロナにおける歯科保健のあり方も問われており、必須な歯科保健医療サービスの確保は世界的な課題である。

2020年5月から6月にかけて、日本口腔衛生学

会・新型コロナウイルス感染症対策作業部会が行った「歯科保健サービス再開に向けた諸外国の対応と課題について」の簡易調査では²⁾、米国やアジアにおいてウイズコロナでの歯科診療に関する指針が概ね整備されていたが、アフリカ、中東、南米などでは十分な対応がなされていなかった（表1）。感染状況の相違があるにせよ、国・地域によってコロナ禍の歯科保健医療サービスの提供に開きが大きいことは社会問題である。

【著者連絡先】

〒951-8514 新潟県新潟市中央区学校町通2-5274
新潟大学大学院医歯学総合研究科予防歯科学分野
小川祐司

TEL：025-227-2857 FAX：025-227-0807

E-mail：ogahpre@dent.niigata-u.ac.jp

受付日：2020年11月13日 受理日：2020年11月30日

定期健診・口腔内クリーニング・予防的処置

FDI（国際歯科連盟）は2020年6月に、“Dentistry and Oral Health during the COVID-19 Pandemic”と題して（表2）、ウイズコロナにおける歯科医療と歯科保健について声明を出している³⁾。それによると、口腔健康管理は全身健康や快適な暮らし

表1 ウイズコロナでの歯科口腔保健 各国の対応まとめ²⁾

	米 国	中 国	タイ	韓 国	イ タ リ ア	シン ガ ポ ール	ニュ ー ジ ー ラ ンド	英 国	カナ ダ	ス ペ イン	ブラ ジ ル	イ ラ ン	ケ ニア	南 ア フリ カ
受診前について														
1.体温確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
2.問診による体調確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.電話による相談	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
4.待合でのソーシャルディスタンス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.待合でのマスク装着	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
治療前について														
6.手指衛生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7.薬液でのうがい ^{※1)}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
個人用防護具 PPEについて														
8.サージカルマスク使用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9.N95マスク使用	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	×	×	×
10.使い捨てガウン/コート着用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
11.防水加工ガウン着用	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×
12.医療用防護服着用	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
13.ゴーグル/フェイスシールド使用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14.グローブ使用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
治療行為について														
15.スリーウエイシリンジ使用	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
16.唾液排出器使用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
17.口腔内バキューム使用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
18.口腔外バキューム使用	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×
19.ラバーダム使用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
20.手用スケーラー使用	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
21.超音波スケーラー使用	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
22.タービン類使用(緊急性の高い場合)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	×
23.X線撮影	○	○ ^{※2)}	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○ ^{※2)}	×
清掃・消毒について														
24.待合室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
25.歯科ユニット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
26.トイレ	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×
その他														
27.財政支援	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
×の合計数	3	5	5	5	6	7	7	8	8	9	10	11	11	17

注1) 使用薬剤は、CHXクロールヘキシジン、GPC塩化セチルピリジニウム、ポビドンヨード、過酸化水素、エッセンシャルオイル

注2) パノラマのみ

(表中の○: その項目について、指針の中で言及されていた ×: その項目について、指針の中で言及されていなかったを意味する)

に必須であり、流行期におけるコロナ対策によって歯科保健医療へのアクセスが不必要に妨げられることがないようにすべきとしている。そして、歯科保健医療へのアクセスをできる限り改善するために、テレ・デンティストリーなどの遠隔歯科サービスや救急診療所の設置を行い、口腔保健推進の主導を講じるべきとする指針を提示している。

一方、WHO（世界保健機関）は2020年8月に、“Considerations for the provision of essential oral health services in the context of COVID-19 Interim guidance”として（表3）、ウィズコロナにおける必須な歯科保健医療サービスの提供に関する暫定*ガイダンスを発表している⁴⁾。（*暫定とは、内容や事象に変更が生じた場合に速やかに改訂を行うが⁵⁾、2年間を有効期限とするという意味

表2 FDI Dentistry and Oral Health during the COVID-19 Pandemic³⁾ の抜粋

<ul style="list-style-type: none"> ▪ 口腔保健専門家および口腔保健ケア口腔健康管理は、パンデミック時の医療提供や医療従事者に対する規制や指導に関連する全ての議論および決定に含まれるべき
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 関係機関は、開業医や勤務医などの歯科医師に対して、適切な財政的・行政的支援を行って診療（行為）による経済的損出を少なくし、パンデミック中およびパンデミック後における適切なケア口腔健康管理の継続を確保すべき
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 口腔保健専門家および口腔保健ケア口腔健康管理に対する全ての規制および指針は、開業医および患者の個別感染リスクだけでなく、国における公衆衛生の状況や需要が考慮されるべき
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 口腔保健専門家は PPE や治療行為、患者受け入れなどを含めた国のガイドラインや規則を遵守すべき
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 関係機関は、PPE が容易にかつ廉価で調達できるように確保すべき
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 口腔保健専門家は、国の定めた規則のもとに、緊急性のある歯科健康管理をいつでも（もしくは、できる限り）請け負う責任がある
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 口腔保健専門家は、あらゆる機会を通じて口腔疾患予防について強調し、治療の必要性、回避可能不必要な受診および医療費の削減を目指すべき
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 歯科医師もしくは診療所の所有者は、スタッフや患者の健康と福祉（快適な暮らし）を守る責任がある
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 適切な口腔衛生管理の指針を作るためには、具体的な歯科診療の検討を含めた新型コロナウイルスとその伝播に関するさらなる研究が不可欠である

表3 WHO “Considerations for the provision of essential oral health services in the context of COVID-19 Interim guidance”⁴⁾ の抜粋

<ul style="list-style-type: none"> ▪ 歯科診療は術者と患者の距離が近く、唾液・血液が飛沫しエアロゾル発生が多いため、歯科診療を介して COVID-19 感染が発生するリスクが高いことを認識する
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 市中感染下では、痛みや機能等への支障を伴う緊急性の高い処置を優先し、定期健診・口腔内クリーニング・予防的処置などは遅らせる
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 患者のスクリーニングと優先順位（トリアージ）を事前に行い、COVID-19 感染の有無を明確にする（感染有りの場合は、専門機関へ紹介する）
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 術者は医療用マスクを、患者は治療の前後にマスクを着用し、合わせて手指衛生を徹底する（可能な場合には術者との間にプラスチックの仕切り板などを設置してトリアージを行う）
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 定期的な換気を徹底し、内気循環型のエアコン等はろ過装置を組み合わせる
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 治療中の歯科医療従事者と患者の感染防止のため、手袋・使い捨てガウン・目の防護（フェイスシールドやゴーグル）、医療用マスクなど標準感染予防策に準じた PPE (personal protective equipment) の適切な装着・着脱のほか、エアロゾル発生時にはフィルタリング・フェイスピースクラス 2（N95 相当）マスクの着用、口腔内バキューム使用、ラバーダム使用を推奨する
<ul style="list-style-type: none"> ▪ エアロゾル発生が少ない手用切削等の方法を推奨する
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 治療前の口腔内消毒を行い、口腔内レントゲン撮影は控える

である)



その中では、歯科診療を介して新型コロナウイルス感染が発生するリスクが高いことを警鐘し、特に市中感染下では、痛みや機能等への支障を伴う緊急性の高い処置を優先に、定期健診・口腔内

クリーニング・予防的処置などは感染状況が改善するまで、もしくは国や地域における指針に従って、遅らせるべきとする優先度を勘案した口腔保健サービスのあり方を提言している。

これに対し、FDIをはじめ多くの歯科医師会は

表4 WHO “Let’s Practice Self-Care!” #HealthyAtHome での口腔ケア⁸⁾

• Oral health

	<p>Practice oral hygiene twice daily</p> <p>Use toothbrush and “fluoride-containing” toothpaste. Brush teeth twice a day, especially before going to bed. If you don’t have teeth, use a sponge swab or gauze to clean. If you wear dentures, clean them once a day.</p>		<p>Clean your tongue as part of your daily oral hygiene</p> <p>Lightly brush your tongue or use a tongue scraper (twice a day).</p>
	<p>Prevent dry mouth</p> <p>Drink plenty of water to ensure you have enough saliva. Avoid oral care products that cause irritation and crunchy/hard foods. Choose sugar-free chewing gum/candy.</p>		<p>Maintain a healthy diet & avoid sugar heavy food and drinks</p> <p>such as fizzy drinks, fruit juices and juice drinks, liquid and powder concentrates, flavoured water, energy and sports drinks, ready-to-drink tea and coffee, and flavoured milk drinks.</p>
	<p>Maintain the muscles around your mouth</p> <p>by chewing, singing, or saying words quickly.</p>		<p>Quit smoking</p> <p>Smoking increases your risk of gum disease. It also increases likelihood of contracting COVID-19 because smoking can affect lung capacity and because the act of smoking increases the possibility of transmission of virus from hand to mouth.</p>

新型コロナウイルス感染がいかなる状況であっても、定期健診・口腔内クリーニング・予防的ケアは必須な口腔保健サービスであって、蔑ろにすることは患者の口腔内悪化を助長するとして懸念を表明し⁵⁻⁷⁾、後にWHOは口腔保健サービスの優先度は、国の医療システムや資源などを十分に考慮した上で対応すべきと見解を一部修正している。

歯科診療を介しての新型コロナウイルス感染拡大（クラスター）発生が報告されていない事実を踏まえれば、適切なエアロゾル対策の下で定期健診・口腔内クリーニング・予防的ケアを行うことは妥当な判断であると考えられる。

今後の展望

新型コロナウイルス感染予防のために外出を控えステイホームの時間が多くなり、日常生活様式に変化が生じている。感染リスクが高い高齢者は外出が少なくなり、人との交流が途絶え会話をしなくなることで、口腔の健康を保持することが難

しくなっている⁸⁾。そのため、ウイズコロナにおける口腔健康管理の指針や規制は、患者や集団の特性を十分に踏まえたステイホームに直結する内容であることが求められる。

WHO 西太平洋事務局では2020年7月に、“Guidance on COVID-19 for the care of older people and people living in long-term care facilities, other non-acute care facilities and home care”として、ウイズコロナにおける高齢者あるいは施設入居者を対象にした健康ケアガイダンスが作成されている。軽い運動（エクササイズ）、栄養のほか、弱った視力や聴力への対応、転倒の予防といった全身健康の項目とともに、口腔ケアが項目として含まれている⁸⁾。具体的には、歯磨き習慣や義歯の手入れ、舌清掃、口腔の保湿、健康な食生活、禁煙、口腔周囲筋のエクササイズが推奨されており、幅広い内容での口腔健康管理が指針として提示されている（表4）。

口腔と全身の健康の密接な関わりが謳われるな

か、このガイダンスが発出された意義は大きく、新型コロナウイルス感染予防において口腔ケアの重要性が広く認識されることが期待される。

文 献

- 1) WHO Coronavirus disease (COVID-19) pandemic <https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019> [cited 2020 1 November].
- 2) ウイズコロナでの歯科口腔保健 —各国の対応と課題— 日本口腔衛生学会新型コロナウイルス感染症対策作業部会 http://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/file/news/news_200729.pdf [cited 2020 25 October].
- 3) FDI Council Statement on Dentistry and Oral Health During the COVID-19 Pandemic <https://www.fdiworld-dental.org/fdi-covid-19-resource-library>[cited 2020 25 October].
- 4) WHO “Considerations for the provision of essential oral health services in the context of COVID-19 Interim guidance” <https://www.who.int/publications/i/item/who-2019-nCoV-oral-health-2020.1>[cited 2020 20 October].
- 5) American Dental Association Responds to World Health Organization Recommendation: Dentistry is Essential Health Care https://www.ada.org/en/press-room/news-releases/2020-archives/august/american-dental-association-dentistry-is-essential-health-care?utm_source=adaorg&utm_medium=alertbar&utm_content=response-WHO&utm_campaign=covid-19# [cited 2020 20 October].
- 6) Irish Dental Association Statement On Routine Dentistry <https://www.dentist.ie/latest-news/irish-dental-association-statement-on-routine-dentistry-8349.html> [cited 2020 20 October].
- 7) FDI “Dentistry and Oral Health during the COVID-19 Pandemic” <https://www.fdiworlddental.org/news/20200814/fdi-responds-to-whos-latest-guidance-on-the-provision-of-oral-health-services-in-the>[cited 2020 1 November].
- 8) WHO Western Pacific Region Guidance on COVID-19 for the care of older people and people living in long-term care facilities, other non-acute care facilities and home care <https://www.who.int/publications/i/item/WPR-DSE-2020-015>[cited 2020 25 October].

Oral Health Care Service as New normal — Adopt “with COVID-19” —

Hiroshi Ogawa

(Division of Preventive Dentistry, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, Japan)

Key Words : COVID-19, Oral health care service, Elderly

With coronavirus disease 2019 (COVID-19) being prevalent globally, oral health care service with accessibility has changed. As research evidences have indicated the importance of optimal oral health to prevent COVID-19, we are encouraged in the meantime to adopt oral health behaviours and practices to shift to a new normal with COVID-19. This special report was prepared to highlight on how best to provide oral health care service for those who have had or are at risk of COVID-19 based on the presentation which was delivered at the 19th colloquium at the Fukai Institution of the Health Science.

Health Science and Health Care 20 (2) : 54–58, 2020